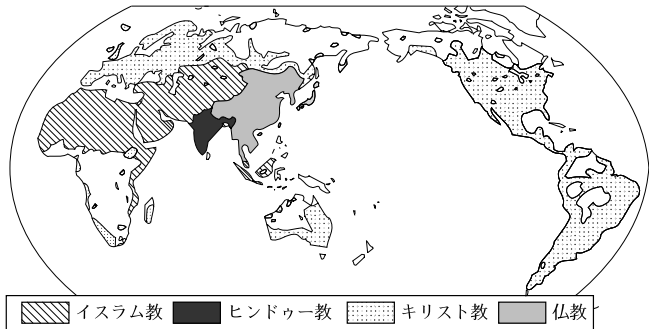


社会A第3回補充問題解説

1 [地理：世界]

答 (1) ウ (2) ウ

(1) 西アジアを中心に、ユーラシア大陸の内陸部から北アフリカにかけて、イスラム教を信仰する人が多く分布している。東南アジアでも、インドネシアやマレーシアでは、イスラム教を信仰する人が多い。宗教の分布について、右の地図で確認しておこう。



(2) 氷や雪におおわれる期間が長く、短い夏にコケ類が育つほかに樹木が生育できないというのは、寒帯のようすを述べている。地図中のアは乾燥帯、イは熱帯、エは温帯に属している。

2 [地理：日本]

答 (1) イ (2) 過疎 (3) 温暖な気候やビニールハウスなどを利用して、作物の生長を早める栽培。

- (1) アの水産業とエの農業は第1次産業、ウの運輸業は第3次産業にふくまれる。
- (2) きょくたんに人口が多い状態を過密、きょくたんに人口が少ない状態を過疎という。
- (3) 作物の成長を早める栽培を促成栽培、おくらせる栽培を抑制栽培という。

3 [歴史：古代・近世]

答 (1) 天平文化 (2) ウ

- (1) 聖武天皇のころに栄えた文化は、元号(年号)にちなんで天平文化と呼ばれる。東大寺正倉院におさめられた、聖武天皇や皇后の遺品などには、中国や中央アジア、ペルシャなどの影響が見られる。
- (2) 九十九里浜でとれたいわしは干鰯に加工されて、近畿地方の綿作地域などに出荷された。アとイはおもに室町時代、エはおもに鎌倉時代のようなすを述べている。

4 [歴史：古代・現代]

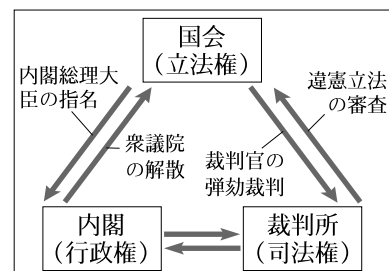
答 (1) イ (2) サンフランシスコ平和条約

- (1) 平等院鳳凰堂は、平安時代に建てられた、代表的な阿彌陀堂建築である。浄土信仰では、念仏を唱えれば、死後に極楽浄土に生まれかわれると考えられていた。アの一向宗は、鎌倉時代に親鸞が開いた浄土真宗のことである。ウの山岳宗教は、熊野信仰や立山信仰などのように山を敬う信仰で、平安時代の初めに降に広まった天台宗と真言宗には山岳宗教の影響が見られる。エの禅宗は、座禅などの修行によってさとりを開く宗派で、臨済宗や曹洞宗などがふくまれる。
- (2) サンフランシスコ平和条約は、第二次世界大戦の講和条約として、アメリカ合衆国やイギリスなど48か国と日本との間で結ばれたが、中国や韓国、ソ連(現在のロシア連邦)は署名48か国にふくまれていない。

5 [公民：国の政治のしくみ]

答 (1) P ウ Q イ (2) 行政権

(1) 三権の抑制と均衡について、右の図で確認しておこう。P. 内閣総理大臣は国会の指名にもとづいて天皇によって任命される。内閣は国会の信任にもとづいて成立し、国会に対して連帯して責任を負っており、このしくみを議院内閣制という。Q. 裁判所のもつ違憲審査権は、国会がつくった法律だけでなく、内閣が行う命令や処分などに対しても行使される。



(2) 立法権は法律をつくる権限、行政権は政治を行う権限、司法権は法にもとづいて事件や問題を解決する権限である。